

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	1	教科名	技術
教科担当	金城 義幸		
教科書名	新しい技術・家庭 技術分野		
副教材	新しい技術・家庭ノート 生物育成・材料と加工		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術)科の目標と評価について

教科の目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
評価の観点	(知識・技能) ○材料加工の技術に関する知識が身に付き、活用できている。○適切に道具を扱い、安全に正確な作品づくりをすることができる。○製作に必要な図の書き方、図に表す技能を身につけている。 (思考・判断・表現) ○目的に合った作品のデザインについて考え、自分なりの工夫を凝らすことができる。○効率的な作業のために工具の使い方などを工夫することができる。○構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身につけている。○製作の課程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身につけている。 (主体的に学習に取り組む態度) ○材料加工についての技術に関心を持ち、ものづくりの作業に意欲的に取り組んでいる。○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるよう
評価方法	○単元・小テスト等 ○授業の様子や発言内容 ○ノート、ワークシートへの記述 ○指導に対する成果物(レポート、作品等)

2 (技術)科の学習について

進授業方の	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・特別教室(技術室・PC室)を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
テ単元スト	○教科書とノートをしっかりと見直して、材料加工に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習しておこう。

3 年間指導計画（その①）

4月～10月	<p>①単元名(教材名) 生物育成の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。
4月	<p>①単元名(教材名) 生物育成の技術による問題解決</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、課題を設定する力を身につける。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
4月～10月	<p>①単元名(教材名) 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、課題を設定する力を身につける。

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2	教科名	技術
教科担当	金城 義幸		
教科書名	新しい技術・家庭 技術分野		
副教材	新しい技術・家庭 ノート エネルギー変換・情報		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術) 科の目標と評価について

教科の目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と
評価の観点	<p>(知識・技能) ○生物育成やエネルギー変換に関する知識が身に付き、活用できている。○育成環境を工夫して育成することができる技術を身につけている。○構想に基づいて設計し、回路図や組立図にまとめる技能を身につけている。○適切に道具を扱い、安全に正確な作品づくりをすることができる。</p> <p>(思考・判断・表現) ○生物育成・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。○育成する作物に適した環境条件について考え、目的に合わせて栽培計画を立てる力を身につけている。○効率的な作業のために工具の使い方などを工夫することができる。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) ○生物育成やエネルギー変換についての技術に関心を持ち、実習に意欲的に取り組んでいる。○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成・エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</p>
評価方法	<p>○単元・小テスト等</p> <p>○授業の様子や発言内容</p> <p>○ノート、ワークシートへの記述</p>

2 (技術) 科の学習について

進授業方の	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心
テ単スト元	<p>○教科書とノートをしっかりと見直して、エネルギー変換・情報に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習しておこう。</p>

3 年間指導計画（その①）

11月～1月	<p>①単元名(教材名) 情報の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法、コンテンツを構想する力を身につけている。
1月～3月	<p>①単元名(教材名) エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。
1月～3月	<p>①単元名(教材名) エネルギー変換の技術による問題解決</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、課題を設定する力を身につける。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3	教科名	技術
教科担当	金城 義幸		
教科書名	新しい技術・家庭		
副教材	新しい技術・家庭ノート 情報		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (技術) 科の目標と評価について

教科 目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
評価 観点	<p>(知識・技能) ○ 計測・制御システムの仕組みの理解・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能○生活や社会に果たす役割や影響に基づいた情報の技術の概念の理解</p> <p>(思考・判断・表現) ○情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる力○よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) ○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度○よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造していこうとする態度</p>

方 評 法 価	<ul style="list-style-type: none"> ○単元・小テスト等 ○授業の様子や発言内容 ○ノート、ワークシートへの記述 ○指導に対する成果物（レポート、作品等）
------------------	---

2 (技術)科の学習について

進 授 め 業 方 の	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう
テ ス ト 単 元	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書とノートをしっかり見直して、情報に関する様々な語句やプログラムの使い方、作業手順を復習しておこう。

3 年間指導計画（その①）

4月～11月	<p>①単元名(教材名) 計測・制御システムとは何だろう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身につけている。
11月～3月	<p>①単元名(教材名) 社会の発展と情報の技術</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術の概念について理解している。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。

